

2022年度第1回しなの鉄道活性化協議会次第

日 時 2022年6月9日(木) 午前10時30分から

場 所 上田市 上田駅前ビル「パレオ」2F会議室

1. 開会

2. あいさつ

3. 協議事項

(1) しなの鉄道活性化協議会規約の一部改正(案)について

(資料1-1、1-2)

(2) 2021年度しなの鉄道活性化協議会事業報告(案)について

(資料2-1-1、2-2-1、2-2-2)

(3) 2021年度しなの鉄道活性化協議会決算(案)について

(資料3-1、3-2、3-3)

(4) 2022年度しなの鉄道活性化協議会事業計画(案)について

(資料4-1、4-2)

(5) 2022年度しなの鉄道活性化協議会予算(案)について(資料5)

(6) その他

4. 閉会

2022年度 第1回しなの鉄道活性化協議会 議事概要

日時 2022年6月9日(木)

10時30分～11時30分

場所 上田市 上田駅前「パレオ」2F会議室

1 開 会

会議成立の報告(事務局)

委員25名中22名が出席。出席者が過半数を超えており会議が成立していることを報告。
(協議会規約第6条第2項)

2 あいさつ

<しなの鉄道活性化協議会会長>

当協議会の会長を務めておりますしなの鉄道(株)専務取締役です。本日は当協議会にお集まりいただきありがとうございます。また日頃よりしなの鉄道の運営に関し財政的な支援をはじめ、利用促進等様々な面でご支援を頂いており、改めて感謝申し上げます。

6/6(月)にしなの鉄道の取締役会にて決算発表をさせていただきました。既にご存じの方もいらっしゃると思いますが、この場をお借りして少し説明させていただきたいと思います。

2021年度の輸送人員及び旅客収入ですが、2021年度全体を通しては2018年度と比較すると定期外が6割弱、定期が9割弱で推移しております。2018年度と比較する理由は、2019年度は台風19号の影響によりしなの鉄道線が1か月半にわたり運休したため、直近の平常年である2018年度を比較の対象とさせていただいています。特にしなの鉄道線をみていただければと思いますが、2021年度の輸送人員全体は800万人強となっており、2018年度比では77.4%の水準になっています。内訳をみてもらいますと、定期外が175万人となり、2018年度と比べると55.5%となっており6割弱の数字となっております。通勤・通学定期については9割弱となっております。旅客収入全体では、しなの鉄道線は17億2千万円となり、2018年度と比べると約71%となっております。定期外の収入は7億円強となり、2018年度比55.4%の水準にとどまっています。その結果、北しなの線と合わせた合計は、輸送人員全体で1,140万人強となり、2018年度比77.4%の水準となっています。定期外については240万人強という事で2018年度比56.3%の水準となっています。通勤・通学については9割を下回る水準で一年間推移しました。旅客収入の合計は約22億円ということでした。2018年度比では69.9%といった形です。定期外についてはコロナの影響ということで2018年度比54.8%の水準にとどまっています。

参考までに2022年度GWの状況でございますが、4/28～5/8までの期間を2018年と比較しますと全体で定期外が67%の水準まで回復してきている状況です。とはいっても7割の水準には至っておりませんが、徐々にお客様が戻ってきていると感じています。一方、しなの鉄道の観光客の中心である軽井沢駅は9割近くまで回復している感じがしますので、コロナの状況を見据えながら経営の努力をしていこうと考えています。

その結果の収支でございますが、営業収益は会社全体で34億7千万円強となっております。

先ほど申し上げた旅客収入に加え、JR 貨物様から頂く線路の使用料が約 4.7 億円、それから駅での販売や駐車場等の雑収入が 8.2 億円程あります。その合計が 34 億 7 千万円強となっています。一方で営業費、コストですが 40 億円強となっており、営業収益を上回ってしまっています。その結果、営業損益は 5 億 4 千万円の赤字という事で 2021 年度決算となっております。2020 年度と比較しますと 1 億 7 千万円程増えていますが赤字の水準にとどまっています。ただし、コロナ関連の運行に関する補助金を沿線市町様より約 5 億円強、2021 年度はいただいております。県の 3.5 億円をはじめ各市町様よりいただいております、それを足しこんだ当期純損益は 4,400 万円程の赤字にとどまっています。ただ、当社といたしましては、営業損益が 5 億円以上の赤字となっていることから、今後この赤字を縮めていくよう邁進していく考えです。

一方 2022 年度の見込みでございますが、輸送人員については定期外が 7 割ぐらいまで回復、定期については 9 割ぐらいまで回復するのではないかと考えておりますが、どうしても 100%には戻らないと想定して予算を組んでいます。今年度は収入が約 37 億円程度で費用のほうが 40 億円程度かかってしまい、今のところ営業損益は 3 億円強の赤字を見込んでおり、先日の取締役会でも報告し、少しでも赤字額を小さくすべく、努力をしていきたいと考えています。

以上が決算の説明でございます。それを踏まえまして当社の経営改善にどのように取り組んでいるのかをお話しできればと思います。すでに 2021 年度 4 月から当社内に事業見直しのプロジェクトチームを立ち上げました。セクションごとにコストの削減には努力してきたところではありますが、全社的に、横断的にすべての業務を見直すということで今年の 4 月よりプロジェクトチームを立ち上げております。それを踏まえて今年の 7 月に課長様レベルでご説明させていただき、10 月に沿線首長会議を行っています。そこでのご意見を踏まえまして 11 月に経営改善策として発表させていただいております。具体的には昨年度行った大きなものはダイヤ改正でございます。通勤時間帯の土休日に運休し運行本数を例えば長野～小諸間では上下 4 本減便させていただいております。実際の土休日のその時間は利用率が平日に比べ 28%の水準という事で 3 割以下ですので土休日運休とさせていただきます。それから一部の駅につきましては無人化、それから土休日の無人化をやむを得ず実施させていただきました。それから今年度につきましては、サービスの低下というところは否めませんが、ダイヤにつきましては、特に日中の利用者が少ない時間帯のところで統合し、または終電を一部繰り上げることを検討しています。詳細につきましては決定前にきちんと地元の方々には説明していきたいと考えています。また、一つ大きなところでございますが、来年度 4 月には乗継割引の廃止を行わせていただく予定です。現在 JR としなの鉄道を乗継ぐお客様には例えば篠ノ井駅では 40 円から 80 円当社のほうで割引いています。JR は既に廃止しており、経営改善策の中に入れていただき、沿線の首長の皆様にはご説明させていただいております。サービスの低下は否めないと感じておりますが、しなの鉄道が沿線地域を支える地域鉄道としてきちんと存続していく、また安全輸送を今後も維持していくということを肝に銘じ進めていきたいと思っておりますので、地元の皆様にもご理解をいただきながら、我々もコミュニケーションをとりながら今後もお力沿いをいただきたいと思います。

3 協議事項（議長：会長 協議会規約第6条第1項）

(1) しなの鉄道活性化協議会規約の一部改正（案）について

事務局から「資料1」を説明。

（異議なし、原案のとおり承認）

(2) 2021年度しなの鉄道活性化協議会事業報告（案）について

(3) 2021年度しなの鉄道活性化協議会決算（案）について

事務局から「資料2」及び「資料3」を一括説明。

監査報告：監査委員による出納監査結果を報告。

（異議なし、原案のとおり一括して承認）

(4) 2021年度しなの鉄道活性化協議会事業計画（案）について

(5) 2021年度しなの鉄道活性化協議会予算（案）について

事務局から「資料4」及び「資料5」を一括説明。

（異議なし、原案のとおり一括して承認）

(6) その他

<事務局>

資料の後ろに、「中吊り広告への文言記載のお願い」を添付してございます。

しなの鉄道線は本年10月に開業から25周年を迎えます。そのため、現在行っております車内中吊り広告事業で掲出するポスターについて「祝 しなの鉄道線開業25周年」の文言を中吊り広告のどこかに記載いただければと思います。その際、文言記載箇所、フォント及び大きさについて特段の指定はございません。

文言記載の対象となる中吊り広告は2022年10月1日から2023年3月31日までに掲出する中吊り広告となります。

皆様のご協力をお願いいたします。

【その他意見】

<上田氏住民代表>

2点ほどお聞きします。1点目がしなの鉄道の乗り降り自由の周遊きっぷは現在どのようになっているのでしょうか。2点目がチケットレスについて、都市部ではICカードやスマホの決済ができる地域が増えてきていますが、しなの鉄道のチケットレスの取組はどのようになっているのかお聞かせください。

<事務局>

周遊券についてはフリーきっぷという形でしなの鉄道線は軽井沢～長野の間が1日乗り降り自由なきっぷがあります。北しなの線につきましても長野～妙高高原の間が1日乗り降り自由のきっぷがあります。

チケットレスについては、軽井沢町様及び小諸市様でMaaSという取組があり、そこ

に組み込んでいただいております。チケットレスにもいろいろ方法があり、利便性を高めるためにどのようなことができるのかいろいろ検討しているところです。しなの鉄道の全線にということになると JR 東日本様に乗り入れている関係があり、JR 東日本様との調整が必要となってきますので、現在ではできるところから実施している状況です。MaaS につきましてはご希望の市町様がございましたらお声がけいただき、乗車券を組み込むことについては極力ご協力させていただきますので計画がございましたら弊社までご連絡ください。

<上田市住民代表>

沿線の自治体ごとに様々な取組がされていて、みんな違うシステムを使っており、行くところにより違うアプリのインストール等が必要となってきます。しなの鉄道として一つのシステムを検討していただきたいと思います。

<しなの鉄道沿線観光協議会事務局長>

しなの鉄道沿線観光協議会事務局長をしておりますしなの鉄道の営業課長です。チケットレスについての捕捉になります。現在弊社のチケットレスについては「軽井沢リゾート号」、「しなのサンライズ号」、「しなのサンセット号」の有料快速を新型車両導入とともに走らせています。お客様自身がスマホを使って予約した場合、メールの文面をチケットの代わりとしてご利用できるようになっています。同じような仕組みが観光列車「ろくもん」の指定席プランにも導入されています。チケットレスとは違いますが、キャッシュレスについても今後重要な課題になってくると思われまます。弊社では決済手数料等の問題から導入を見合わせていたところですが、来年 4 月から主要駅である軽井沢、小諸、上田、屋代の各駅に 1 台ずつ非接触型クレジットカードの利用可能な券売機を導入し、お客様の利便性の向上を図っていきたいと考えています。まずはこの 4 台を入れることによって今後駅の利用状況にもよりますが、拡大していければと考えています。

<千曲市住民代表>

各駅へのアクセスについて質問があります。各駅へのアクセスについてはマイカーやバス、自転車等様々ですが、特にマイカーについて申し上げます。千曲市は千曲川を挟んで東側が国道やしなの鉄道のある地域、西側は JR 篠ノ井線がある地域であります。西側の地域から、千曲市内の 4 つのしなの鉄道の駅へアクセスするためにはどうしても車が必要となってきます。戸倉駅については大正橋、千曲駅は冠着橋、屋代駅は平和橋とがあり、千曲川を渡るアクセスはよくなっています。したがって車を使いたいとなります。話が限定的になってしましますが、昨今、千曲駅の駐車場の定期契約者が多くなってきています。千曲駅の駐車場が 40 から 50 台ほど止められるスペースがあると思われていますが、そのほとんどが定期契約者になっていると思います。以前千曲駅が開業した時には一般使用が 12 台分ほどありましたが現在は 6 台分のスペースしかありません。その 6 台分は常にいっぱいになっています。しかし、定期契約者のスペースを見ると使っていないのではないかと感じる場所があります。千曲駅を利用したくても駐車場の問

題で利用できないという一つの理由になってしまいます。これからコロナ収束も含めて、出張関係で長野もしくは上田へ行く際の利用が増えることが予想されますが、出張は日帰りが多くなっており、一般使用の駐車場に止めて出張が増えるのではないかと思います。土地の確保など課題があると思いますが、駅の拡張等検討する機会があれば一般利用のスペースの確保をお願いしたいと思います。

<千曲市>

千曲市の駐車場の件につきましては、ある程度の駐車場は確保していると思いますが、現在の利用状況の資料がございませんので、改めてご連絡したいと思います。その状況に合わせて、駐車場の拡張などを検討していきたいと思います。

<上田市住民代表>

上田駅付近の踏切について、駅に電車が入ったところで閉まってしまい、5分以上開かない時があります。安全対策上そのようなになっているとは思いますが、通勤時間はみんなイライラしています。歩行者はくぐっていつてしまう人もいます。閉まっている時間について改善策はないのでしょうか。

もう一点、要望ですが、乳母車を使うことがしなの鉄道の駅では難しいと思います。子ども連れで電車を利用すると楽しい、子どもも親も楽しめるようなしなの鉄道になっていただきたいと思います。

<事務局>

踏切に関しましては、国の基準があると思われます。電車が通る何分前に踏切が動作しなければならないというようなものだと思いますが、現在はその基準を満たすもので設置されています。専門の部署ではないので正確にはわかりませんが、現在いろいろな種類の踏切があると思います。基準の中で必要以上に踏切を下げないようなものも存在するとは思いますが、すぐに更新という事は費用面で難しいと考えています。ただ、お金がないからと言って放置していいものでもないため、当社としても踏切の更新の際に住民の皆様にご迷惑のかからないものに変更していけるように関係の部署には話をしておきます。

キッズサービスにつきましてはお子様にとってどのようなことがいいのかということがあると思います。弊社にはお客さまセンターというところがあり、要望等受け付けておりますので面白いアイデア等ございましたらご連絡ください。我々も考えていきますが面白いアイデアであれば取り入れていきたいと考えています。

<上田市住民代表>

どうしてもこのような会議は女性の参加が少なくなってしまう。お母さん方の意見をお聞きするような機会をしなの鉄道として、利用者を増やしていく取組をお願いしたいと思います。

<会長>

貴重なご意見ありがとうございました。今年度、我々にとっては経営改善策ですが、沿線の皆様からするとサービスの低下であるのは否めない取組となっておりますが、しなの鉄道としてはぜひ地域の方々を回らせていただき、全てのご意見を受けることはできませんが、お話をお聞きできればと思っています。逆にそのような機会に地域のお母さま方にご出席いただき、ご意見をいただければと思っています。

<会長>

私のほうから2点ほどお願い事がございます。1点目は事務的な負担であります。先ほどご説明しました通り、弊社は非常に厳しい決算となっており、来年度についても赤字を見込んでおります。当社としましても人員削減や業務の効率化等の自助努力を行っているところではあります。かかる状況下、協議会の事務局も当社が行っている上に、毎年、10万円の負担金を支払っていることから、事務的な負担について今年度議論をさせて頂きたいと思っております。

2つ目としては、今般のコロナ禍で人々の動きが大きく変わってきていることから、この人々の動きを沿線全体で把握することを目的に、来年度に大規模な乗降調査を実施したいと考えております。取得したデータについては沿線の方々にも共有させていただき、プラットフォーム的なものになると考えていますので、詳細については、今年度協議させていただければと思います。

<事務局>

以上をもちまして協議事項は全て終了となりますが、閉会の前に当協議会副会長よりご挨拶をいただきます。まず上田市都市建設部長より一言お願いいたします。

<しなの鉄道活性化協議会副会長（上田市都市建設部長）>

ただいまご紹介いただきました上田市都市建設部長です。副会長という立場から一言ご挨拶申し上げたいと思っております。本日皆様お忙しいところ当協議会にお集まりいただきましてありがとうございました。

冒頭会長より経営が非常に厳しい状況、それに伴って抜本的な改革、改善を図られているとお話がありました。その中で、地域の足として私たちも自分ごととしてしっかり考えていかなくてはならないと再認識したところでございます。委員の皆様からもそのようなお話をいただきましたし、まずは使っていただいでどう改善なり、よくしていくかをお話いただくことが次の議論につながっていくと思っております。

上田市といたしましても、しなの鉄道の本社が上田市にあり、当市の市長も取締役をしており、継続的な経営支援に取組ませていただいているところです。新型コロナの状況は皆様ご存じのとおりでございますが、ここ2年交通事業者の皆様にもコロナの経済対策として支援させていただいております。とくに長野県と呼応させていただいて積極的な支援を沿線の自治体のみなさんと一緒にさせていただければと思っています。また、近頃は原油高ということもございまして長野県の県議会も来週から開会ということにな

ると思いますが、本市としても補正予算の対応を検討していかなければいけないと考えています。

委員の皆様からのお話がありましたが、公共交通のデジタル化に向けて上田市としてもスマートフォンアプリ「チケット QR」ということで昨年から利用いただいているところですが、QR コード決済の実証事業を継続させていただいております。その中で、しなの鉄道沿線の小諸市様におかれましても「チケット QR」を活用した消費喚起事業を6月から開始していただいておりますし、上田市としましても6月の議会の補正予算の中で9月の実施を目指して消費喚起事業を予定させていただいております。

また、千曲市様との連携というところで、昨年度から電動のシェアサイクルの実証実験を行わせていただいております。鉄道の利用をしていただいで、シェアサイクルで自由に地域を回っていただくという取組になりますが、このような広域的な連携を様々な移動サービスを提供することでMaaSの取組の視点、長野県や県の機関と取り組ませていただいております。

7月1日からシェアサイクル事業を行う予定でありまして、上田駅や市街地への自転車の設置ということで昨年の5か所から、しなの鉄道信濃国分寺駅や別所線の沿線にも設置を予定しており、10か所に広げて利用促進を図っていきたくと思います。

上田市の塩田平ですとか信濃国分寺のような文化財の日本遺産の認定を受けたという背景もございまして千曲市様と一緒に取組を続けていきたくと思っておりますのでよろしくお願いたします。

最後になりますがしなの鉄道様におかれましては善光寺御開帳ですとかワイン、ツーリズム等の沿線イベントを活用していただいで様々な活性化に取り組んでいただいております。

新型コロナの収束がまだまだ見通せない状況ではございますが、各地の地方鉄道が存続の危機に瀕しているという状況を皆様ご存じのことと思います。そういった中で自分たちの足である地域鉄道の維持を沿線自治体の皆様と行うことは必要不可欠でないかと思っております。

しなの鉄道様の経営回復そして沿線住民の移動手手段の確保ということで引き続き協議会が中心となりまして関係者が連携して活性化に取り組んでいくことをお願いたします。私からの挨拶とさせていただきます。

<事務局>

ありがとうございます。続きまして、同じく副会長の長野県交通政策課長、本日は代理でご出席いただいております交通政策課課長補佐より一言お願いたします。

<しなの鉄道活性化用議会副会長（長野県交通政策課長）>

長野県交通政策課、課長補佐です。本日お集まりの皆様方には、日頃から、しなの鉄道の利用促進・活性化、本県の公共交通の政策の推進に格別のご配慮いただき、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、しなの鉄道の皆様方には、急速に悪化する財務基盤に対応するため、全社一丸

となって経営改善策に取り組んでいただき感謝を申し上げます。

しなの鉄道を取り巻く状況は、善光寺御開帳や沿線自治体のイベントなどの効果により、一時期よりは社会が動き始めているように感じます。しかし、新型コロナウイルスは幾度となく感染拡大・収束を繰り返し、いつ再拡大するか予断を許さない状況です。

また、コロナ収束後も新しい生活様式の定着により鉄道利用が以前の水準に戻るには難しいのではないかと考えられます。

県といたしましても将来にわたりしなの鉄道の事業継続が図られていきますよう引き続きしっかり支えていきたいと考えています。

最後に、皆様方なしなの鉄道に対する変わらぬご支援、ご協力を申し上げるとともに、しなの鉄道の皆様に引き続きの経営改善の取組をお願い申し上げ挨拶とさせていただきます。

4 閉 会

以 上

しなの鉄道活性化協議会規約の一部改正について

協議会規約を下記のとおり改正する。

記

1. 規約第4条（組織）関係 別表1

構成団体の組織変更の事由による。

敬称略

区分	構成団体	改正前委員	改正後委員	備考
行政機関	長野市	都市整備部交通政策課長	<u>企画政策部交通政策課長</u>	

以上

しなの鉄道活性化協議会規約（平成 21 年 2 月 16 日施行）

(沿革)	平成 21 年	5 月 19 日一部改正	平成 22 年	2 月 18 日一部改正
	平成 22 年	5 月 27 日一部改正	平成 23 年	5 月 23 日一部改正
	平成 24 年	5 月 23 日一部改正	平成 25 年	5 月 29 日一部改正
	平成 25 年	7 月 25 日一部改正	平成 26 年	2 月 28 日一部改正
	平成 26 年	5 月 26 日一部改正	平成 27 年	5 月 28 日一部改正
	平成 27 年	11 月 18 日一部改正	平成 28 年	5 月 27 日一部改正
	平成 29 年	2 月 28 日一部改正	平成 29 年	7 月 5 日一部改正
	平成 30 年	6 月 6 日一部改正	令和元年	7 月 3 日一部改正
	令和 2 年	6 月 11 日一部改正	令和 3 年	6 月 8 日一部改正
	令和 4 年	6 月 日一部改正		

（目的）

第 1 条 しなの鉄道活性化協議会（以下「協議会」という。）は、鉄道利用者の増加をはじめとする地域公共交通全体の活性化に向けた具体的な事業計画（以下「協議会事業計画」という。）の作成に関する協議及び協議会事業計画の実施に係る連絡調整、並びにしなの鉄道(株)がしなの鉄道線において実施する、鉄道軌道安全輸送設備等整備事業及びバリアフリー化設備等整備事業に係る生活交通改善事業計画（以下「生活交通改善事業計画」という。）の策定及び変更の協議、鉄道軌道安全輸送設備等整備事業についての評価の実施、その結果について地方運輸局長への報告を行うため設置する。

（事務所）

第 2 条 協議会の事務所は、上田市大手一丁目 11 番 16 号上田市役所内に置く。

（事業）

第 3 条 協議会は、第 1 条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 協議会事業計画の策定及び変更の協議に関すること
- (2) 協議会事業計画の実施に係る連絡調整に関すること
- (3) 生活交通改善事業計画の策定に係る協議に関すること
- (4) 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業についての評価の実施、報告に関すること
- (5) 前 4 号に掲げるもののほか、協議会の目的を達成するために必要と認めること

（組織）

第 4 条 協議会は、別表 1 に掲げる委員をもって組織する。

2 協議会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1 人
- (2) 副会長 2 人
- (3) 監査委員 2 人

3 役員は委員の互選により選任する。

(役員職務)

第5条 会長は協議会を代表し、その会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が不在のときは、会長の職務を代理する。
- 3 監査委員は、協議会の出納監査を行うとともに、その監査の結果を会長に報告しなければならない。

(会議)

第6条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
- 3 委員は、都合により会議を欠席する場合は、代理の者を出席させることができるとし、代理の者の出席をもって当該委員の出席とみなす。
- 4 会議の議決方法は、出席委員の過半数の賛同をもって決定することとする。ただし、可否同数のときは会長の決するところによる。
- 5 会議は原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められるときは、非公開で行うものとする。
- 6 協議会は、必要があると認められるときは、委員以外の者に対して、会議の出席を求めることができる。
- 7 会長は、会議の内容が軽微な場合や緊急その他やむを得ない事情により会議を開催することが困難な場合は、書面協議により議決をすることができる。この場合において、第2項及び第4項の規定を準用する。
- 8 前7項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(協議結果の尊重義務)

第7条 協議会で協議が整った事項については、委員はその協議結果を尊重しなければならない。

(分科会)

第8条 協議会は、第3条各号に掲げる事項について専門的な調査、検討を行うため、必要に応じて分科会を設置することができる。

- 2 分科会の組織、運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第9条 協議会の業務を処理するため、上田市都市建設部交通政策課に事務局を置く。

- 2 事務局には事務局長、事務局員を置き、事務局長には上田市都市建設部交通政策課長、事務局員には交通政策課職員及びしなの鉄道(株)経営戦略部経営企画課職員をもって充てる。
- 3 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費)

第10条 協議会の経費は、負担金、補助金、繰越金及びその他の収入をもって充てる。

(財務に関する事項)

第11条 協議会の予算編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(協議会が解散した場合の措置)

第12条 協議会が解散した場合には、協議会の収支は解散の日をもって打ち切り、会長であった者がこれを決算する。

(その他)

第13条 この規約に定めるもののほか、協議会の事務の運営上必要な細則は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、平成21年 2月16日から施行する。

附 則

この規約は、平成21年 5月19日から施行する。

附 則

この規約は、平成22年 2月18日から施行する。

附 則

この規約は、平成22年 5月27日から施行する。

附 則

この規約は、平成23年 5月23日から施行する。

附 則

この規約は、平成24年 5月23日から施行する。

附 則

この規約は、平成25年 5月29日から施行する。

附 則

この規約は、平成25年 7月25日から施行する。

附 則
この規約は、平成26年 2月28日から施行する。

附 則
この規約は、平成26年 5月26日から施行する。

附 則
この規約は、平成27年 5月28日から施行する。

附 則
この規約は、平成27年11月18日から施行する。

附 則
この規約は、平成28年 5月27日から施行する。

附 則
この規約は、平成29年 2月28日から施行する。

附 則
この規約は、平成29年 7月5日から施行する。

附 則
この規約は、平成30年 6月6日から施行する。

附 則
この規約は、令和元年 7月3日から施行する。

附 則
この規約は、令和2年 6月11日から施行する。

附 則
この規約は、令和3年 6月8日から施行する。

附 則
この規約は、令和4年 6月 日から施行する。

別表1 (第4条関係)

区 分	構 成 団 体 名	委 員	備 考
行政機関	長 野 市	企画政策部交通政策課長	
	上 田 市	都 市 建 設 部 長	
	小 諸 市	建 設 水 道 部 長	
	佐 久 市	建 設 部 長	
	千 曲 市	市民環境部生活安全課長	
	東 御 市	産業経済部商工観光課長	
	軽 井 沢 町	住 民 課 長	
	御 代 田 町	企 画 財 政 課 長	
	坂 城 町	建 設 課 長	
	長 野 県	企画振興部交通政策課長	
商工団体	長 野 商 工 会 議 所	地 域 振 興 部 長	
	長野商工会議所篠ノ井支部	支 部 長	
	上 田 商 工 会 議 所	専 務 理 事	
	小 諸 商 工 会 議 所	専 務 理 事	
	佐 久 商 工 会 議 所	事 務 理 事	
	千 曲 商 工 会 議 所	専 務 理 事	
	軽 井 沢 町 商 工 会	会 長	
	御 代 田 町 商 工 会	会 長	
	東 御 市 商 工 会	会 長	
	坂 城 町 商 工 会	会 長	
観 光	しなの鉄道沿線観光協議会	事 務 局 長	
住 民	長野市公共交通活性化・再生協議会	代 表	
	上田市公共交通活性化協議会	代 表	
	千曲市地域公共交通会議	代 表	
事 業 者	し な の 鉄 道 (株)	専 務 取 締 役	

実施事業内容書

資料2-1-1

項 目	事 業 内 容
<p>(種目) 鉄道利用者の増加をはじめとする地域公共交通全体の活性化に向けた具体的な事業</p> <p>(名称及び内容) ①軽井沢～小諸増便（第12次実証運行）</p>	<p>■列車運行費用</p> <p>○運行期間 2021年4月1日～2022年3月31日 ○運行本数 1日7往復・14便増（運休19便）</p> <hr/> <p>■広告宣伝</p> <p>○2022年3月12日改正時刻表作成（7,500部）</p>
<p>(種目) 鉄道利用者の増加をはじめとする地域公共交通全体の活性化に向けた具体的な事業</p> <p>(名称及び内容) 沿線イベント情報の発信</p>	<p>■車内中吊り広告</p> <p>2021年4月1日～2022年3月31日 9団体・16件掲示</p> <p>○広告(ポスター)印刷 ○デザイン ○掲出作業</p>



懐古園桜まつり（小諸市）



いづなまち花まつり（飯綱町）



軽井沢若葉まつり 2021（軽井沢町）



軽井沢紅葉まつり（軽井沢町）



サマーナイトZOO（長野市）



恐竜トリケラトプス絵本原画展（信濃町）



天空の芸術祭（東御市）



高峰高原星空夜景ツアー（小諸市）



懐古園紅葉まつり（小諸市）



軽井沢ウィンターフェスティバル（軽井沢町）



第22回北海道サロマ大海産物市（上田商工会議所）



人権啓発ポスター（長野市）



さく割電子クーポン (佐久市)

移動を「エコ」に。地球に優しい鉄道を利用しましょう

徒歩	ゼロ!
自転車	17g
鉄道	57g
バス	98g
航空	130g
マイカー	130g

1人が1km移動する時のCO2排出量は...

マイカーから、鉄道・バス・自転車へ。環境負荷の少ない移動手段を選択する、信州ライフスタイル

しなの鉄道活性化協議会・北しなの線運営協議会
長野県地球温暖化防止活動推進センター・長野市地球温暖化防止活動推進センター
長野市公共交通活性化・再生協議会 エコ通勤推進部会

エコ通勤ポスター (長野市)

坂城のお雛さま (坂城町)

2022年 2月8日(火) ~ 3月27日(日)

坂城の雛展示館
坂城町総合福祉センター
坂城町公民館
坂城町児童館
坂城町図書館

県内最大級の雛祭り
お待たせしています

坂城のお雛さま

坂城町地球温暖化防止活動推進センター

坂城のお雛さま (坂城町)

海野宿 春らんまん祭り (東御市)

2022/4/10日 午前9時30分 ~ 午後3時

海野宿ひな祭り
3/19(土) ~ 4/10(日)
ひな人形の贈り、竹灯籠によるライトアップ

海野宿さくら祭り
4月1日(金) ~ 4月17日(日)
自給産お花見、海野宿編組の記念メッセージボード設置

物販やクラフトの一堂市、キッチンカーも出店!
海野宿を盛りだくさん!
海野宿お花見
海野宿お雛祭り
海野宿お祭り

主催: 海野宿春らんまん祭り実行委員会
協賛: 東御市、海野宿商會、海野宿お祭り実行委員会、(一社) 信州観光観光協会
問合せ: 海野宿観光協会 TEL: 0268-63-7770
長野県東御市〒371 0801 海野宿
主催: 東御市、海野宿商會

海野宿春らんまん祭り (東御市)

しなの鉄道活性化協議会事業 車内中吊り広告（無料）について

しなの鉄道活性化協議会

- ★観光・イベント情報に限らず市町さまの広報等お知らせしたいことを、列車内に広告として掲出することができます。
- ★お申込みは随時受け付けております。
- ★広告掲出料は**無料**です。

（広告作成費・掲出作業費は掲出主さま負担となります）

（例：車内掲出イメージ）



イベント情報（飯綱町）



アプリの告知（長野県）

《注意事項》

- しなの鉄道活性化協議会事業の一環であるため、広告内に「しなの鉄道活性化協議会」または「北しなの線運営協議会」の表記を入れていただきますようお願いいたします。
- 無料広告のため、**営利を目的とした広告の掲出はできません**。また、有料イベントの場合**入場料等金額の表記はしない**ようお願いいたします。
- お客さまの流動を妨げる恐れがあるため、QRコードの表記はしないようお願いいたします。
- 広告枠には限りがありますので、時期によってはご希望の期間で掲出できない場合があります。予めご了承ください。
- 新型車両への更新中のため、掲出枚数が変更となる場合があります。

★お申し込みの際は、各市町のしなの鉄道活性化協議会構成団体の担当部署からしなの鉄道へお申込みをお願いいたします。

詳細は裏面をご覧ください。

構成団体ご担当者様
(沿線市町・商工団体)

しなの鉄道活性化協議会事務局

車内中吊り広告の掲出について（ご案内）

1. 目的

- ①しなの鉄道の利用促進を図るため、沿線観光情報等を列車中吊りとして掲出する。
- ②沿線市町の広告媒体として列車内広告枠を有効活用していただく。

2. 広告媒体

しなの鉄道車両

車両形式・線区	運転区間	掲出方法	車両数
115系・SR1系 しなの鉄道線・北しなの線	妙高高原～長野 長野～篠ノ井～小諸～軽井沢 (※長野～篠ノ井間はJR信越線)	各車毎	※54両

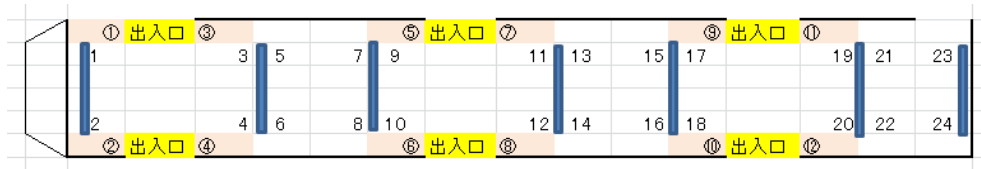
※車両数54両は、2022年5月現在のものです。115系から新型SR1系への更新期間中のため、掲出車両数は若干変動する場合があります。

3. 広告規格

B3サイズ 縦36.4 × 横51.5 (cm)

4. 掲出方法・掲出場所（イメージ）

各車毎に掲出する。（※1車両に1枚の場合は1セット、2枚の場合は2セットとする。）



(※1セットの場合、上記1車両のうち1～24のいずれか1箇所に1枚掲出)

5. 2022年度費用（見積に基づく）

金40,590円（税込）

（内訳）デザイン費3,300円、作成・印刷費70枚 31,350円、
掲出作業費一式 5,940円

※費用は各年度のポスター制作事業者の相見積もりまたは入札結果による

6. 申込方法

別添の「車内中吊り広告掲出要望書」を記入の上、しなの鉄道活性化協議会ご担当課まで提出をお願いします（その後ご担当課からしなの鉄道へ提出いただきます）。

しなの鉄道活性化協議会事務局
(しなの鉄道(株)経営戦略部経営企画課)
担当：石巻 正士
Tel：0268-21-4701
Fax：0268-21-4703
Email：chiiki@shinanorailway.co.jp

(別紙様式)

年 月 日

しなの鉄道活性化協議会事務局 宛

(構成団体名)

車内中吊り広告掲出要望書

タイトル	内 容	セット数	期間	備 考
例) 上田城千本桜まつり	例) イベント情報告知・案内	2	2022. 4. 1～ 2022.4.30	
例) 軽井沢紅葉まつり	例) イベント日程案内	1	2022.10. 3～ 2022.11. 2	
			. . . ~	
			. . . ~	
			. . . ~	
			. . . ~	
			. . . ~	

●車内掲出時の画像提供を希望します。 はい ・ いいえ
(完了届等に使用される場合)

注)1 掲出枚数は1車両に1枚、予備含め合計70枚で1セットとし、セット数を記載して下さい。

(※1車両に2枚、予備含め合計140枚掲出希望の場合は、2セットとなります)

所属部署		
担当者氏名		
TEL/FAX	TEL	FAX
メールアドレス		

2021年度しなの鉄道活性化協議会決算（案）

収入合計	44,345,606 円
支出合計	44,022,438 円
差引残高	323,168 円

収入の部

(単位：円)

款	項	目	予算額	収入済額	増減額	説明
1負担金	1負担金	1負担金	43,503,510	44,100,182	596,672	増便事業 3市町負担金 43,345,792 増便事業 事業者負担金 99,000 協議会運営費(しなの鉄道より) 100,000 中吊り広告事業申込機関負担金 555,390
2補助金	1補助金	1補助金	0	0	0	
3繰越金	1繰越金	1繰越金	245,411	245,411	0	
4諸収入	1諸収入	1雑入	13	13	0	預金利息
合計			43,748,934	44,345,606	596,672	

支出の部

(単位：円)

款	項	目	予算額	支出済額	増減額	説明
1運営費	1会議費	1会議費	50,000	1,706	▲ 48,294	お茶代 1,706
	2事務費	1事務費	50,000	20,550	▲ 29,450	通信費(収入印紙) 20,000 振込手数料 550
2事業費	1事業費	1事業費	43,403,510	44,000,182	596,672	軽井沢・小諸間増便、新幹線接続改善事業費 43,444,792 沿線イベント情報の発信(中吊り広告) 555,390
3予備費	1予備費	1予備費	245,424	0	▲ 245,424	繰越金、預金利息
合計			43,748,934	44,022,438	273,504	

実施事業内容書

資料3-2

(単位：円)

項 目	事 業 内 容	事 業 費
(種目) 鉄道利用者の増加をはじめとする地域公共交通全体の活性化に向けた具体的な事業 (名称及び内容) ①軽井沢～小諸増便 (第12次実証運行)	■列車運行費用 ○運行期間 2021年4月1日～2022年3月31日 ○運行本数 1日7往復・14便増 (運休19便)	43,345,792
	■広告宣伝 ○2022年3月12日改正時刻表作成費 (7,500部)	99,000 (99,000)
	小 計	43,444,792
(種目) 鉄道利用者の増加をはじめとする地域公共交通全体の活性化に向けた具体的な事業 (名称及び内容) 沿線イベント情報の発信	■車内中吊り広告 2021年4月1日～2022年3月31日 9団体・16件掲示 ○広告(ポスター)印刷費 ○デザイン費 ○掲出作業費	555,390 (380,600) (60,500) (114,290)
	小 計	555,390
合	計	44,000,182

監査報告書

しなの鉄道活性化協議会規約第5条3項の規定に基づき、2021年度の出納監査を実施したところ、収入支出は適正に行われ、関係諸帳簿の整備等事務処理も正確に処理されているものと認めます。

2022年5月17日

監査委員 小諸市建設水道部長

山浦立男 

監査委員 千曲市生活安全課長

中野利信 

しなの鉄道活性化協議会

会長 岡田 忠夫 様

2022 年度しなの鉄道活性化協議会事業計画について（案）

◇ 鉄道利用者の増加をはじめとする地域公共交通全体の活性化に向けた具体的な事業

区 分	事業名・概要	事業実施主体
1. より利用しやすいダイヤ	① 軽井沢～小諸間の増便 継 (上り・下り各 7 本、計 14 本増便実証運行継続) ・実証運行効果検証及び運行本数等の見直し	小諸市、軽井沢町、御代田町、しなの鉄道(株)
	② 軽井沢～長野間の直通運転化の推進 継	
	③ 軽井沢駅・上田駅での新幹線、小諸駅での小海線等、他路線との接続改善 継	しなの鉄道(株)
	④ 増便事業告知等のための無料時刻表作成 継	沿線市町、沿線商工・観光団体、交通事業者、しなの鉄道(株)
2. 企画列車の運行、商品 PR 等	① 観光列車等の運行 継 ・おもてなしを通じた沿線地域の魅力発信 ・2 次交通と連携した列車	沿線市町、沿線商工・観光団体、沿線住民、交通事業者、しなの鉄道(株)
	② 車両のラッピングの活用 新	沿線市町、沿線商工・観光団体、しなの鉄道(株)
	③ 観光割引施策等との連携 新	
3. パーク&レールライド及び駅からの移動手段の提供	① 交通快適化対策 (GW などの繁忙期)、臨時列車の運転、鉄道利用の PR 継	沿線市町、沿線商工・観光団体、交通事業者、しなの鉄道(株)
	② 駐車場・駐輪場の PR 継	
	③ 二次交通情報の提供 継	
	④ レンタサイクル及びシェアサイクルの PR 新	
4. 鉄道の利用促進に資する情報発信	① 繁忙期臨時列車や沿線イベントにおける臨時列車の広報誌等への掲載による PR 継	沿線市町、沿線商工・観光団体、交通事業者、しなの鉄道(株)
	② 首都圏でのイベント参加及び情報発信 拡	沿線市町、沿線商工・観光団体しなの鉄道(株)
	③ バスとの総合時刻表の作成 継	沿線市町、交通事業者
	④ 各市町広報誌・HP 等への掲載 継	
	⑤ 沿線地域情報などの収集及びしなの鉄道 HP、SNS での情報発信 継	沿線市町、沿線商工・観光団体、しなの鉄道(株)
	⑥ 列車内の中吊り広告の積極的な活用 継	

5. 地域と連携した鉄道利用促進	① 信州スマートムーブ通勤ウィークとの連携 新	沿線市町、沿線商工団体、北しなの線運営協議会構成団体、沿線企業、しなの鉄道(株)
	② プロスポーツチームとの連携、スポーツ大会、イベント参加者への公共交通機関利用PR 継	沿線市町、沿線商工・観光団体、しなの鉄道(株)
	③ 将来に向けた駅舎の積極的活用の検討 新 ・テナント誘致	
	④ 地域振興のためのダイヤ編成 新 ・停車時間を利用した駅の活性化	
	⑤ 集客・商業施設、商店街等と連携したイベント、鉄道利用のPR 継	
	⑥ 観光列車、企画列車を活用したマイルール及び活用にあたってのPR(貸切団体列車) 継	
	⑦ 観光列車運行時の地域との連携 拡	
	⑧ 学校等との連携 継 ・マイルールを使用した学校行事など	県・沿線市町、学校、しなの鉄道(株)
	⑨ 新たな需要の掘り起し 拡 ・コロナウイルス収束後におけるインバウンド需要の取り込み ・MaaSとの連携	県・沿線市町、沿線商工・観光団体、しなの鉄道(株)
6. 先進事例研究	外部講師による講演会の実施 新	沿線市町、しなの鉄道(株)
7. 環境整備	① 協力団体と連携した駅舎や駅周辺の清掃ボランティア実施 継	駅周辺協力団体、沿線住民、しなの鉄道(株)
	② 駅の花木の植栽 継	駅周辺協力団体、沿線住民、しなの鉄道(株)

新・・・本年度より新規実施する事業

継・・・前年度より継続する事業

拡・・・前年度より事業内容を拡大する事業

列車内中吊り広告掲出計画

資料4-2

2022年度

※黄枠は掲出期間未定

	掲出者	タイトル	内 容	掲出期間（予定）		掲出セット数
	軽井沢町	軽井沢若葉まつり	イベント情報告知・案内	4月29日	～ 5月28日	1
		軽井沢紅葉まつり	イベント情報告知・案内	9月19日	～ 10月18日	1
		軽井沢ウィンターフェスティバル	イベント情報告知・案内	11月19日	～ 12月20日	1
	佐久市	佐久バルーンフェスティバル	イベント情報告知・案内	4月1日	～ 5月5日	1
	小諸市	懐古園桜まつり	イベント情報告知・案内	4月9日	～ 4月24日	1
		懐古園紅葉まつり	イベント情報告知・案内	10月中旬	～	1
	東御市	雷電まつり	イベント情報告知・案内	7月5日	～ 8月6日	1
		東御ワインフェスタ	イベント情報告知・案内	8月4日	～ 9月4日	1
		巨峰の王国まつり	イベント情報告知・案内	8月25日	～ 9月24日	1
		火のアートフェスティバル	イベント情報告知・案内	9月10日	～ 10月9日	1
		天空の芸術祭	イベント情報告知・案内	9月10日	～ 10月9日	1
	坂城町	第17回ばら祭り	イベント情報告知・案内	5月13日	～ 6月12日	1
		坂城お雛さま	イベント情報告知・案内	2月上旬	～ 3月上旬	1
		坂城駅前葡萄酒マルシェ	イベント情報告知・案内	4月下旬	～ 5月下旬	1
		鉄道フェスタ	イベント情報告知・案内	9月中旬	～ 10月中旬	1
	長野市	善光寺御開帳パーク & レールライド	情報発信	3月28日	～ 6月29日	1
		長野市EE電	情報発信	11月	～ 3月	1
		長野市人権啓発ポスター・標語コンクール	情報発信	12月1日	～ 12月31日	1
2022年度 北しなの線運営協議会						
	飯綱町	いいづなまち花めぐり	イベント情報告知・案内	4月9日	～ 5月15日	1
		信州・飯綱町やたら祭り	イベント情報告知・案内	7月23日	～ 8月21日	1
		いいづなりんごフェア	イベント情報告知・案内	9月1日	～ 11月30日	1
	妙高市	艸原祭&水芭蕉祭	イベント情報告知・案内	4月1日	～ 5月5日	1
		紅葉案内	イベント情報告知・案内	9月1日	～ 11月30日	1
		スキー場案内	施設案内	12月1日	～ 2月28日	1
	合 計					24

※実施しない場合あり

2022年度しなの鉄道活性化協議会予算（案）

収入合計	44,402,571 円
------	--------------

支出合計	44,402,571 円
------	--------------

収入の部

(単位：円)

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	増減額	説明
1負担金	1負担金	1負担金	44,079,390	43,503,510	575,880	増便事業3市町負担金 43,021,000 増便事業 事業者負担金 150,000 協議会運営費(しなの鉄道より) 100,000 中吊り広告事業申込機関負担金 808,390
2補助金	1補助金	1補助金	0	0	0	
3繰越金	1繰越金	1繰越金	323,168	245,411	77,757	
4諸収入	1諸収入	1雑入	13	13	0	預金利息
合 計			44,402,571	43,748,934	653,637	

支出の部

(単位：円)

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	増減額	説明
1運営費	1会議費	1会議費	100,000	50,000	50,000	講演会講師謝礼 費用弁償 お茶代 他
	2事務費	1事業費	50,000	50,000	0	通 信 費 振込手数料 他
2事業費	1事業費	1事業費	43,979,390	43,403,510	575,880	軽井沢・小諸間増便、新幹線接続改善事業費 43,171,000 沿線イベント情報の発信(中吊り広告) 808,390
3予備費	1予備費	1予備費	273,181	245,424	27,757	繰越金 預金利息
合 計			44,402,571	43,748,934	653,637	

しなの鉄道活性化協議会 各位

2022 年6月9日

しなの鉄道活性化協議会
会長 岡田 忠夫

中吊り広告への文言記載のお願い

平素、しなの鉄道活性化協議会の事業にご協力いただき感謝申し上げます。
弊社しなの鉄道線は本年 10 月に開業から 25 周年を迎えます。
10 月以降に掲出する中吊り広告につきまして、下記の文言の記載をお願いします。

記

1. 記載事項

「祝 しなの鉄道線開業 25 周年」

文言記載箇所、フォント及び大きさについて、特段の指定はございません。

2. 対象とする中吊り広告

2022 年 10 月 1 日～2023 年 3 月 31 日までの間に掲出する中吊り広告

以上

しなの鉄道活性化協議会事務局
(しなの鉄道(株)経営戦略部経営企画課)
担当:石巻 正士
Tel:0268-21-4701
Fax:0268-21-4703
Email:chiiki@shinanorailway.co.jp